平成29年1月01日



西赤十字病院ニュ

〒384-2292(病院個別番号)

長野県佐久市望月318

: 0267-53-3011(代)

FAX: 0267-53-5901

この

佐

久

の

地

には、

これ

とい

ことをしていくの

かを中心

に計

どういう

 \boxtimes

災害も

おこらず、

本当に

い

い

まし

た。

もう目にし

た方も

少な

ろだと思

つ

て

い

ま

す。

ただ災

会に とこ った

<

な

い

と思い

ま

すが

皆 様

の

ご

理

つ起こるか

わからな

い

つ

か

解

ご協

力がありませ

ん

絵に

-ムページアドレス http://kawanishi.jrc.or.jp

メールアドレス

kawanishi-med-jrc@shore.ocn.ne.jp

川西赤十字病院 院長 田村泰夫

てい

ま

す。

に

地

07

特徴 あや 年の いる、 今 年 なく決断 た酉年の 商売繁盛 か 人だけ が の 親切で あ 干支は つ 7 ると す 人は に こつながっ で á い なく、 面 け い 直 酉 観 年 倒 行 れ ゎ るとい です 力が ば 見 動 れ が $\dot{\overline{}}$ 力 病 い 鋭 い 院 い い に が らもこれ な ま い すぐれ わ い す。 など لح 酉 れ 思 年 迷

7

ま

は

をはじ じしたが . も豪 東日本大震災 1 月の め、 雨 災害など多くの災害が 軽 \Box 昨年も4 本の 井沢バ か 各地 5 5 月の ス事 年 で 故 熊 の が 本 地 経 震 ほ 地 過 В ※ 震 か し

とい 本各地 るように 気象変化の で不気 では ゎ れて久し で発生しました。 なく日常的に普通 味 思 感が わ な れ心配 変化 あ い ですが、 が進 Ď, して h 何 異 い できて か に ます。 に起こる 異常. 八常気 地 球 規 気 象 い どういう病院をめざし、

て

う場合にも ても救護訓 必ず起こるものと していま く必要があるとい 対処 練をはじ できるように ゎ して準備 め、 'n 病院とし い いざとい してお 準備

ありますが、

在

宅診

療

に

は

層力

あると考えて

すと、 とに触 なく、 うということです。 設などを含め、 題という言葉で、 図さて、 がら役割分担し 出る年です。 久地域で うして 原提 地域)域での医療がどうなるの 3の医療、 供計画を作成 そ れ い 2 くの つーつの れぞ の てきま 地域 れ これ が までも れ Z 医 L い の 介護を支えていこ 病院 これからのこ また診 は 療構 た の 特徴を生か い 当 院 の が、 地域全体とし 簡 2025年 Ų 単 かというこ が個 想 Z でも 療 に Ō 今年は佐 ルか、 、 治結論 言 所 々 れ から や施 に い L تع の ま 蔄 な

(往診) 来の をはじめとし ほ ゃ か ·訪問 に健 診 た在宅診 看 護、 ま 訪 た .訪 療などが 問 ij 問 .診

院 描いた餅

般

急

性期

慢

性

期、

回

復

期

に

ŧ

なりか

ね

ませ

ん。

本年もよろしくお願いいたします

てとうござい

ます。 す。 を注い 新年 なり 努力 聞かせい ⊠皆様に ご意見などありまし 行していきたいと考えてい ご意見、 していくわけですが、 かり機能 い ます。 くご指 地域 地 の ま すよう、 て 域 でいく必要が ご挨拶とさせていただきま これ 導をい $\hat{\mathcal{O}}$ を支える病院として は い ただきたいと思っ ご要望 できるように、 行政 今年 く所存です からこの ご祈 を聞 · も 明 ただきたい の皆様などか 念申 るく たら、 きながら、 Ó 計 地 で、 職員 良 域 L 画 の皆様 Iを実行 ま 上げて 7 ぜ い ح よろ しっ す。 年 思 Ŋ い 5 同 ま 実 の に お

す。

当 院 病院医療提供 み 3

計画につい 7

重

|点施

参画 化 能の適正化 でお伝えし ますが、今回は、 提供計画 シリー 療提供体制 様にご報告させていただいており 員の生産 |院広報 · ズ で 策に の 書」 基 . 対 域包括ケアシステムへの (して、 本方針及び重点施策に についての基本方針と 性の向上④費用の適正 ました課題 ٦ij |誌夏号(8月発行)から に ②外来収益の向上③ 西赤十字病院医療 ついて、 当院の今後の医 秋号(10月発 (①入院機 地域 の 行

基

ついて報告いたします。

重点施:

ついては、 次のとおりです。

1

域

の

ズを

供 踏 地

機

能

の

般

以病床の

適正化 の拡大

まえた

医療 整

提

 点施 策② 策 ①

- 重 点施策③

療

養

病棟の継続

維

回

復期機能

盂施 点施策⑤ 策(4) 外来機能 在宅医療

の拡 の強

化

重

重

一点施 策6

重

地域包括ケアシス テ 厶 への参画

P R

活

動

を継

続実施

うます。

病床の増床に合わせて、

大に

向

けて地

域包括ケア

ます。

を作成しています。

次号の広報誌

で地域の皆様にお伝えしてま

院外への

基本方針 2

黒字転換 経営改 善 ī 向 の 強

紹介患 化た 者獲得 i の 継 向

策② 策① けた病 続強 化 :病連携

配置 向け 人件費比率抑 |人員の適正化 た組織改編と 制 に

重点施

本方針3 対建 応物 の 更及新び • 化 施 する病 設への 診 機 院

策① 継 適 を維持するため 切な購買判 続した診療機 断 の 能

強化 訪問リハビリといった在宅分野を 外来収益向上に向 図次に、 保し、職員1人あたりの生産性向 院機能 上記6つの重点施策を通して、 上を図ってまいります。 まず、 しを図ります。 することで、 の適正化を図るとともに、 基本方針1 基本方針2ですが また、 新たな収 け外来機能の見 についてですが、 訪問看護、 益を確 回 復

図現在、

当院では、

基本方針及び

重点施策を具現化するため、

でアクションプラン(行動計画)

化を実現したいと考えていま 収益確保に向け紹介患者獲得及び ことができる部門へ配置する等、 ります。 徹底した費用の削 随時配置人員の見直しを実施 を初めとする佐 佐久医療センターや浅間総 するため、 また、 直接収益を生み出す 人医療 人件費比率を適正 の見える連携を図 減に努め、 合 ず。 黒字

更に、 ため、 まいります。 運営審議会等にお す。 今後の方向性を検討してまいりま 投資を行っていく必要があります。 えております。 ているため、 いては、 全面改修が必要となっております。 建物については、 応えていくためには、 院が今後も、 ⊠最後に、 また、 空調機器の老朽化が激しく 高額医療機器 購入から10年以上経過し 築年数が経過している 基本方針3ですが 既に更新の時期を迎 地域の医療ニーズに 今後開催する当院 いて、 築30年を迎 (CT等)につ 適切な設備 えて て 当

置されたものです。 市町 域住民の 支援センターにおいて開催され、 11 佐久市長・ この審議会は当院が診療圏内 平成28年11 名の委員が出席しま との円滑な連携体制のもと地 運営審議会が佐久市望月総合 医療を確保するために設 東御市長 月 28 日 に らした。 立科町長 jι 西赤十 の

図なお、 きま 後も継続して検討することとなり 金 成 ⊠当日は経営状況や本年8月 ま の支援に した当院医療提供計画書 した。 た。 対する支援)については、 並びに施設・設備及び医療機 助 ついて協議 金 の支援(継続及び していただ 補助



に

完



治体の防災、 ŧ とし ことが義務付 法や災害対策基本法などにお 要な活動 災害救護活動 日 ての本来の使命に根ざし 本赤十字社は国 の Ŋ けられてい とつです。 救助業務に協力す は、 日本赤十字社 及び地方自 災害救助 ま す。 た重 い る て

> 術と知 よう、 ⊠当院救 班が編成されており、 で救護班を編成していま かわからない災害に備え、 !迅速 おい か 毎年救護訓練に参加 識 ても常時2個 護班は例年、 の つ適切な 研 鑽に 努め 対応 班の を行 県内の各日 災害発生時 ていま 医療 す。 各施設 なえる 当院 す。 救護 技

赤施設 催された、 佐 年度はそ 救護訓 人市臼田 練 が 参加 れ に に 参加していますが、 運 長野県 加え、 する長 動公園を主会場に開 野県支部 総合防災 10 月2日(日) 練

き、 る体制を確立するとともに、 合的に実施し、 互に 害対策基本法、 に 画 |及び佐 参加しま · 連 携 防災関係機関と地域 して、 久市 し た。 地域防災計画 各種防災訓練を総 災害時に即応でき 長野県 この訓 地 域防 練は 住民が相 に 広く 災計 基

三千人が参加する大規模なもので 県内 とし 消防団及 防災力の 警察 たも 外 の び のです。 向上に資することを目的 約百三十 地 消 域住民 防 訓 医 の 練に の 団 |療機関を始め 体、 方々など、 は、 総勢約 自衛

遺憾に

も

東

日

本大震災以降は、

日

隊

は福島

で

も震度5の地震が発生し、

図今年は、

熊本地震災害をはじめ、

防災意識

の普及高揚を図り、

地域

取県中部地

震、

ま た、

月に

るような

状態が

続

7

ま

⊠日本赤十字社では

いつ起こる

本中で比較的

大きな地

震

が頻発す す。

> 各 参加者各々が連携を確認しながら、 種 訓 練 に 望みま J た。

> > 後、

D

Μ

AT及び佐久医師会と連



ŋ 隊による現場での被災者の救出の められ、 被災現場では、 込まれ、 ッドが崩落。 噴 も いう現場を想定 ⊠当院救護班が参加した訓 な 実践的な環境でした。 状況下で、 火山泥流が発生し、 火による降灰及び集中豪雨によ 煙が焚かれるなど、 傷病者が発生していると 当院 車両が泥流等に した訓 実際に車が土に埋 .救護班 スノーシェ 練 そのよう でし は、 練 ば、 とて た。 飲み

> 指揮 処置 携を確認 たりま の など、 Ū 元 た。 しつつ、 各班 長 で 傷 ある が 救護活 病者の受入 清 水医 動に 師 0

活動 活動 図訓 あが 事により、より一 点を洗い出し、 の糧とできるよう、 むことにより、 応に追われる難し たトラブルなど、 たが、 た |関係団体と連 が、 を目指します。 練の中で多々反省点はあ ったと実感できま で は、 そういっ 今回の貴重な経験を今後 当初想 その 携 班 た問題 様 層 員の 定し を図 い 対 質 訓 場 Q な 練での 応策を練 の L 練 面 て ŋ 態度は た。 高 に取 [もありま 問 ながら い 題 な い り組 問 ŋ の か 対 ま 層 0

-3-

識及 護活動 力を重 務の 冒 会でも重要な役割を担っています。 て、 び 救 \mathcal{O} 頭でも述べましたように、 の 技術の とつであり、 は 護班は 日本赤十字社の根本的な業 高 ていきます。 ĺ١ 「 人 道」 救 護 向 班 上に励 今後も引き続き知 という見地に 今日の地 なるよう、 み、 より 域社 救 努 お



\boxtimes 全身の冷却 低体温症 偶発性

が下がると眠くなり、 を保とうとしますが、 がると、 を伴うことがあります。 温が危険なレベルまで低下した状 体的な疲労と重なって生命の危険 難事故としてよく見られます。 偶発性低体温症は寒いところで体 まず全身が震えだし体温 山岳、冬の海などの漕 さらに体温 物事に対し 体温が下 凍死しま

す。 て無関心な状態になり、

ります。

温の低下をきたす危険があ

に移動して

一時的に中心体

 \boxtimes

す。 風の当たらない、 かいところに傷病者を移しま できれば暖

とさらに大きくなります。

手・

体への影響は、

風と湿気が加

わる 足

ることがあります。

低い温度の身

らされて、

全身が冷えると凍死す

身体全体が低い

温度に長くさ

ず

いぶんと寒い時期が続きます

が起きます。

度に長時間さらされると、

血液の循環の悪いところが低い温

・鼻・耳のように露出していて、

す。 火を起こして暖めたり、 衣類が湿っていたり、 の いたりしたら、よく乾いたも んぽ等を用いて全身を温めま に着替えさせます。 さらに、 濡 湯た れて

⊠○設備のある山小屋等であれば、 ぬるめの風呂に入れるのもよ いです。

意識があれば、 できるだけ早く医師 ません)を与えます。 かい飲み物(アルコールは 糖分のある温 の診療を

 \boxtimes

15 10

5

20

本当はアルコールは いけないらしい

さらに下がると、 局所の冷却 足などが寒冷にさらされ 最初はチアノ (凍傷 むしろ

耳、 白になります。 赤くなり知覚が失われ、 て温度が下がると、 ・ゼに、

 \boxtimes

)凍傷の部分を傷病者または救 どにはさんで温めます。 助者のわきの下、 大腿の間 耳 な

> 覆います。 鼻などのときには温かい布で

*傷病者を移動させたり着替

⊠○早く設備のある山小屋等に す。温かい飲物を与えるのも 部分を2分以上入れて温め 効果があります。 4℃程度のお湯に凍傷の

 \boxtimes

*電気毛布など加温器具の

意します。

乱暴に動かさないように注 えさせたりするときには、

用をする場合、

急速に加温

すると、

体表面温度の上昇

により末梢血管の拡張が起

冷たい血液が中心循環

 \boxtimes \bowtie 手足であれば、 ると、熱傷の後のように腫れ 凍っている手、 循環を良くします。 と同様にその部分を覆います の温度がもとに戻れば、 ベルトなどをゆるめ 足などを温め 衣類のひ その部分 血 も

凍傷の部分は、 なくなります。 くと腫れが少なく、 高く挙げて置 痛みも少

などを脱がせておきます。

て痛むため、

早めに靴、

-4-

できるだけ早く医師 受けさせます。 の診察を

 \boxtimes *凍傷の部分を雪や布、 けましょう。 で摩擦するのは絶対に避

*足が凍傷のときには、 *凍傷の部分を直接火に当 かせないようにします。 てて温めてはいけません

出 典 赤十字救急法講習教本

受けさせます。

 \boxtimes

できる対策 **D**

1 個 個 工 ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ が感染を拡 の流行-中であ

なて

いことを意識

染の

拡

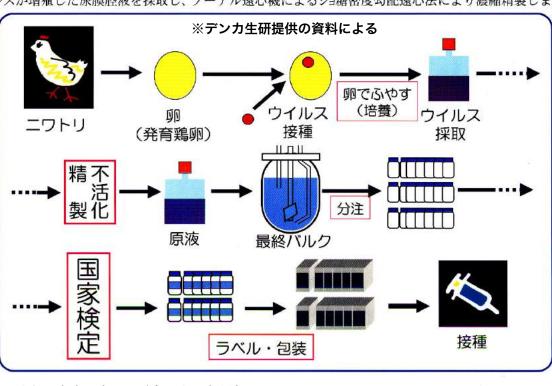
がりを遅

くしたり、

インフルエンザワクチン製造の約半年前より雛鳥を用意し、十分な管理の元に成鶏まで育てると、約半年に亘って発 育鶏卵を用意する事ができます。発育鶏卵を消毒した後、10~12日間ふ卵させ、検卵により一定の品質を満たす卵をワ クチン製造用に使用します。この発育鶏卵の尿膜腔内に、一定量のインフルエンザワクチン製造用のウイルス株を接種 した後、2~3日間培養します。培養が終了したら、約半日間冷却し、ウイルスの増殖を中止させます。その後、自動採 液機を用いて、ウイルスが増殖した尿膜腔液を採取し、ゾーナル遠心機によるショ糖密度勾配遠心法により濃縮精製しま

インフルエンザワクチン

す。精製したウイル ス粒子は、分解し、 不活化した後、規定 の濃度に調整します。 精製したワクチン原 液は、3株分(A/ソ 連型、A/香港型、 B型)を混合し、各 バイアルに小分けし ます。その後国家検 定に提出し、合格し た製品を順次包装出 荷します。通常、8 月まで製造し、8月 から国家検定を受 けて、合格した製 品を9月から包装、 出荷していきます。 通常のシーズンは、 12月中旬頃までに接 種が終了します。



※人類の有史以来、一番多く人の命を奪ったウィルスは、恐らくインフルエンザです

防

治療

発信す

医師

(1) 予防のために守りましょう。 (2)る情 応じて利用 インフルエンザに スク者へ) 咳エチケッ 可 予防効果 立 不織 可 い クの着用。 厚生労働 を心がける 能 報 感染症研 '能な限り人混みを避 布製 に注目しましょう。 ではありません よう。 (発生状況、 の 省、 L があります。 瓷所 まし ましょう。 マスクは完 方 の 自治 井 ため りよう。 などの の かかった

が

定 予

全に

け、

手

必要に

医 常に手洗 できるだけ他の |療機関への受診を考慮 ようにする。 い を心 がる。 くとは会 ゎ し

な

 $\widehat{\pm}$

ま

することによって、 大させ かか 被害 ンフルエンザによるも 方は必ずしもそれらの こともあると 関を受診する場合。 てください。 基礎疾患などのリスクが 基礎疾患などの 喉の いうことを考 みなどで リスクが のでは. 症

状

が

1

な

な

医

ための 受診してください。 方は早めにかかりつけの まし 関に連絡 受診しようと考えて いよう。 マスクを か 咳エチケッ け た上 い で る 医 受診 1 師 医 あ の を 療

す を

自分

が

かからな

いこと、

たりすることが可

ら周

囲

の

方

に

· 配

慮することを

いただき、

以下の

ことを

方は、 妊娠中の つ ル エン ĺ١ ょ 7 か 。う。 事前. ぜに かりつ 方 か や基 かけ っめ た 時 医師 相 疾患 のこと シイン して が ある お -5-

予防法 も 手洗い

め配慮

を心 ŧ

にも

特に

八

イか

· リな

物

きま 様に 市や 0) ま 里 U 第 にお越しこ î た。 ふれ したことを感謝申 立 になり |科町からも多くの住民 回 望月 |交流 あ ました。 い い が地域は ただき200名近 センター ひろば 盛 もちろん が 大に開 で 10 Ľ 開 月 げ 22 催 の皆 東御 され 催 ま 日 駒 で

Ŀ 1 1 .

図脳 講演会が行われました。 に取り組む三浦弘先生をお招きし フィットネス」を開発し介護予防 :を 鍛 えまし い 機 指示に、 たっぷり2時間、 えてい 能 た。 体力向上を図る 三浦先生のテン きいきライフ」 自分の手足であって 脳と身体を 「脳と身 「楽脳 と題 ポの

と行動しがちですが、

 \Box

常

の

意 方

人はどうしても楽な方へ楽な

け

遠い場

所を選んでみるとか、

買

事

パ 識

の

買

い

物

も駐車場はできるだ

的

な 脳 ト

として、

例えばスー

ŧ 苦笑い たに からも笑い声や溜 苦してしまい、 自 ぎや する場面 分の思うように動 か な講演会となりま が多々 病院スタッフも 息が聞こえ、 ぁ ń かず ·四 苦 会場

ため おく

になる講演会は、

間

が

あ

つ

という間

た。

エランの若手

社員の方々に、

ボラ

ま

た今回、

医

療業者である

株

ンティアでお手伝いいただきま

野菜販売では、

菜ない

る畑

熱のこもった 三浦先生の講演

なかなか 思うように 手足が動いて れません

ま 勇 化 壮で見惚れて 信 川西赤十字病院 交流ひろば た。 州 信州望月太鼓 地 域 に L

様のお役にたてるように日々努力

7

いきたいと思い

います。

「信州望月太鼓」の皆さまの勇壮な演奏

その音色はお腹の底まで染み渡ります

ただきました。

野菜やお惣菜を沢山取り揃えてい

⊠これからも、

Ш

西

赤十字病院

は

康や福祉の

分野

で

地

域住民の

だと思いました。 が 存在 望月太鼓の皆さま してい るの この しまう迫-は ような芸能 素晴 力 の 5 が 演 あ ŋ 文 は

から言うなど絶えず脳を刺激し た方が脳に良いそうです。 事が大切だそうです。 もわざとあちこち歩きまわ 板の電話番号を逆 に過ぎてしま すれ違う車 予定の2時 また、 楽

普段の生活に於いて、

ナンバー

や看

当院で利用していますケアサポ トセット(入院中必要となる 身の回りのもの)のレンタルを

する業者さんです。 今回は無料たこ焼きの提供にお

手伝いいただきました。

「菜ないろ畑」 のスタッフの 皆さま 野菜やお総菜を陳列中です

野菜が高値に

も関

わらず、

新鮮な

んにお世話に

なりまし

た。

今秋

は さ

動 き 3

つい

- ★平成26年10月より、高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種が「定期接種」に追加さ れました。
- ★現在、日本人の死因の第3位は肺炎によるものです。
- ★肺炎で亡くなる方は全国で年間約12万人に達し、その内96.8%が65歳以上です。
- ★日常生活を営む65歳以上の方の肺炎の原因菌の中で最も多いのは「肺炎球菌」で約 30%を占めます。

定期接種の条件

地方自治体により異なりますが佐久市の場合、対象となる年齢は、「今年度」において、65歳、 70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となり、料金は2,000円です。該当 する方は市役所より案内文書が送付されておりますので、ご確認ください。

定期接種の条件に該当しない方は

- ①佐久市にお住まいで場合で66歳以上の方
 - 市から一部助成が受けられます。助成後の料金は、4、550円となります。なお、助成を受け るにあたり、必ず事前に申請の必要がありますのでご注意下さい。
- ②その他の条件の方
 - ・自費接種として7、550円で接種可能です。

肺炎球菌ワクチンについて何かご不明な点がありましたら・・

当院医療社会事業課(0267-53-3065)までお問い合わせください。

★当院にて接種を希望される方は、上述の医療社会事業課か来院時、外来 看護師にお問い合わせください。

様

の

わ

れ

て

ま

す。

て

で

示

スピタリティ

ょず、

な

の言葉

に

い

で

た。

受す

る必

要

が

あ

ると感じ

ま

手の気持ちを身体全

て

し

てれが、気に

あ

り ゃ 相

ま 杏

話

セ

ジ

的

I定的 す。

に

な

つ

がし

まうと

手

に チ

伝

わ

る

X

ル

1

方に

ず、相びまう恐

言葉だけ

にこだ 特に

「人に疹 とは意べ を な ま心 伝 す ヘピタル 気遣 るでに語ん す。 の り 説 り ゎ ま 明 つ 木 不 <u>څ</u> ل より、 はご す。 て な つ スピタリ U らいかと感じを与えるほ た 行 初 $\widehat{\parallel}$ 足 がめて「おもいかと感じれ 存知で が言 病院) 無葉が 無 動 と言 テ (場所) であるな病院こそが ノイ 足り U 様 に 葉が もてて ようか?。 あるこ 今後 なか のい ななた。 考え 語 け 源 つ に も 更相た

を 実 い 接 年 た 11 だ を目 通や 施 ティ 心の を サ すが、った内である。 エな講習内容:ノイ向上研修」 原則 講 月 き ま的 お 師 17まし も 日すたし、 て ス 内た容挨 委員 な しに の 職 象 L 拶 彩 意 員 会 を 接 識 で の成 の 報 仕の 接小 実 の は 施 遇 更 方、 X お 須 研 力 3 木 な 職 も し 田 ま ス せ る 言 て 員

研修の様子 どの職員も一生懸命聴講しています

図での図たでわ き 接以 る 遇 上 やと おな も ま て な す し が た の 意今 識後 ま 向 も

が - 7 - が と ④ ① ず な 態 挨 に て次 れり ま 、 つい で の す 印 6 すが、1 りまだし 1 て が 学び 形 成 Ū ま の · つなみ、 る立ち のチ X 印力 ち ニズ ヤ ⑥ 振 具 ンネー る 体の 話 Δ 舞 的 重 に し 方 い に

Н 居 28 宅 年 介護支援/ 12月31日

看 護師 今 村 木 内 楓

h

7

9:00~11:30

Н Η 28 年 28 年 般 病 9 棟 月 10 来 月 31 30 看日 H

退 護師

職 5 大井

布

い所も⑦にと懸色早福 マ読 **(4**) 派懸命に 早く 書 ネ Н 〒6 失業中余型 祉の仕 試験を受け Þ 教 仕 事 業務に (えてい) ま 江事に就きましを受けました。 条中余暇を利用 1 日 ⑤ に取り組んでいきいただきながら、順れて、地域のこに就きました。

こと

=

きた

112

用してケア ーデニング

それ

を機

部③介護支援専 I ⑤ 門 ガ 員 ① 高 野 典 美 少一言 野種に就いた が属③業種④採用月口

採 用 た日

5

5

第1・3・5週

21	米 2	5 611 3	但 3	交	★第	2、第4土曜日	は休診日です
		月	火	水	木	金	★ ±
内科 (循環器科)	午前 8:30~11:30 午後	田村 泰夫 稗田 宏子	米倉 宏明 稗田 宏子	田村 泰夫 久米典彦	米倉 宏明 信大 田中 (8:30~11:30)	田村 泰夫 ^{全国日赤からの} 応援医師	第1 稗田 第3 第5 立石智則
(1/11/2/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/	14:30~ 16:00			米倉 宏明	全国日赤からの 応援医師		
外科 (消化器科)	午前 9:00~11:30	清水 公男	清水 公男 第3週4週 不定期	休 診	検査	佐久総合	検 査
整形外科 (リウマチ科) (リハビリ科)	午前 8:30~11:30	大内 悦雄	小諸厚生 9:00~	大内 悦雄	交替制不定期 大内 悦雄 塩澤 律 9:30-	大内 悦雄	信州大学 ^{第1・5週} 9:00~
眼科	午前						長野日赤

☆受付時間(全科) 午前7:00~11:30☆ (初診患者受付は8:30より開始)

☆木曜日内科午後診は14:30~16:00まで

- ★曜日により診療開始時間が下記の時間帯になります
 - ・外科 (火曜日) 8:30~
 - (火・木・第1、第3、第5土曜日) 9:00~
 - (第1、第3、第5土曜日) 9:00~
 - **★毎月1回、子宮頸がん検診を実施しています。ご希望の方は受付窓口または** 外来看護師までお問い合わせください
 - ★無料クーポン券による乳がん検診(マンモグラフィー)は随時行っております ご希望の方は当院医療社会事業課までお問い合わせください